

## 外科系の専門医制度と連携したデータベース事業 「National Clinical Database」について

2011年1月1日より、日本外科学会を基盤とする外科系諸学会が協力し、医療の質の向上を目的とした『一般社団法人 National Clinical Database』（以下、NCD）が立ち上がりました。

当院では、2011年より、NCDによる「外科系の専門医制度と連携したデータベース事業」に参加しています。この事業は全国の手術・治療方針を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、治療成績の改善を目指すプロジェクトです。

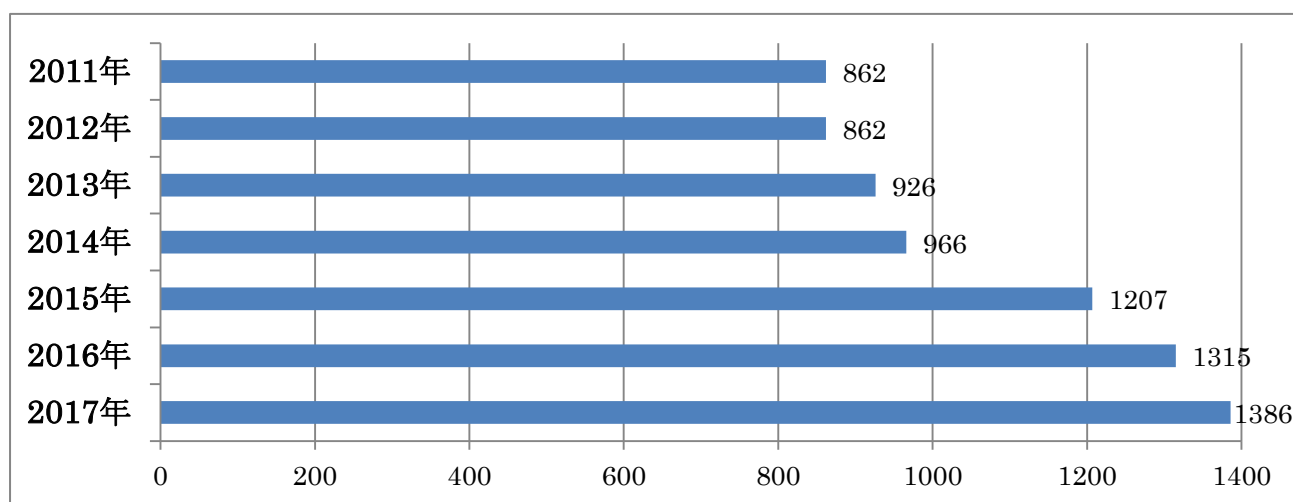
全国の医療施設診療科の情報を収集することで、手術を行っている施設診療科の特徴、医療水準の評価、適正な外科専門医の配置、手術を受けた方の予後、これから手術を受ける方の、死亡・合併症の危険性などを明らかにすることができます。

情報収集の対象は、日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法等となります。

[該当診療科]

該当診療科	外科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、循環器内科、泌尿器科
-------	---------------------------------

[年間登録症例の年次推移]



詳細につきましては、NCD ホームページをご覧ください。

[専門医制度と連携したデータベース事業について](#)